

平成26年度授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	研究ゼミナールB (Seminar of Study B)	授業コード	C172588
担当教員名	吉森 聖貴	科目ナンバリングコード	
配当学年	3	開講期	後期
必修・選択区分	選択	単位数	2
履修上の注意または履修条件	プログラミング演習が中心となります。C言語の復習をしておいてください。		
受講心得			
教科書			
参考文献及び指定図書	やさしいC ソフトバンククリエイティブ デジタル画像処理 CG-ARTS協会 IT Text 人画像処理 オーム社		
関連科目	メディア処理1, メディア処理2B, メディア処理演習2B, 研究ゼミナールA		

授業の目的	4年次の卒業研究に着手するための準備を行うことを目的とした科目です。この科目は各専門領域の教員がゼミナール形式で開講することで、学生に専門教育科目の履修だけでは不足しがちな専門教育を学ぶ上での学習方法・学習態度を身につけてもらうと同時に、卒業研究に着手する上で必要となる専門領域に関するより高度な知識・技術の習得をめざします。
授業の概要	画像処理を目的としたプログラミング演習(C言語)ならびに画像処理分野関連内容の紹介します。具体的には、動画画像処理の基礎アルゴリズムを紹介するとともに、画像処理ライブラリ「OpenCV」を用いた簡単な動画画像処理プログラミングを行います。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第1週：ガイダンスとOpenCVプログラミングの復習(1) 本科目で取り扱う内容について紹介します。また後に必要となるOpenCVを用いたプログラミングの復習も合わせて実施します。	配布資料 講義資料・演習課題・解答例
第2週：OpenCVプログラミングの復習(2) 前週に引き続き、OpenCVを用いたプログラミングの復習を行います。	配布資料 講義資料・演習課題・解答例
第3週：OpenCVプログラミングの復習(3) 前週に引き続き、OpenCVを用いたプログラミングの復習を行います。	配布資料 講義資料・演習課題・解答例
第4週：OpenCVプログラミング(1) OpenCVを用いて動画画像を対象としたプログラミング演習を行います。	配布資料 講義資料・演習課題・解答例
第5週：OpenCVプログラミング(2) OpenCVを用いて動画画像を対象としたプログラミング演習を行います。	配布資料 講義資料・演習課題・解答例
第6週：OpenCVプログラミング(3) OpenCVを用いて動画画像を対象としたプログラミング演習を行います。	配布資料 講義資料・演習課題・解答例
第7週：OpenCVプログラミング(4) OpenCVを用いて動画画像を対象としたプログラミング演習を行います。	配布資料 講義資料・演習課題・解答例
第8週：OpenCVプログラミング(5) OpenCVを用いて動画画像を対象としたプログラミング演習を行います。	配布資料 講義資料・演習課題・解答例
第9週：OpenCVプログラミング(6) OpenCVを用いて動画画像を対象としたプログラミング演習を行います。	配布資料 講義資料・演習課題・解答例
第10週：OpenCVプログラミング(7)	配布資料

OpenCVを用いて動画像を対象としたプログラミング演習を行います。		講義資料・演習課題・解答例
第11週：OpenCVプログラミング(8) OpenCVを用いて動画像を対象としたプログラミング演習を行います。		配布資料 講義資料・演習課題・解答例
第12週：OpenCVプログラミング(9) OpenCVを用いて動画像を対象としたプログラミング演習を行います。		配布資料 講義資料・演習課題・解答例
第13週：OpenCVプログラミング(10) OpenCVを用いて動画像を対象としたプログラミング演習を行います。		配布資料 講義資料・演習課題・解答例
第14週：OpenCVプログラミング(11) OpenCVを用いて動画像を対象としたプログラミング演習を行います。		配布資料 講義資料・演習課題・解答例
第15週：OpenCVプログラミング(12) OpenCVを用いて動画像を対象としたプログラミング演習を行います。		配布資料 講義資料・演習課題・解答例
第16週：期末試験		
授業の運営方法	(1)授業の形式	「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブ・ラーニング	
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	
【知識・理解】	OpenCVについて理解する OpenCVを使って書かれた簡単な動画像処理プログラムが読める
【技能・表現・コミュニケーション】	
【思考・判断・創造】	OpenCVを使って簡単な動画像処理プログラムが作成できる

○成績評価基準(合計100点)			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等 (テスト)	レポート・作品等 (提出物)	発表・その他 (無形成果)	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。				
【知識・理解】 ※「専門能力<知識の獲得>」を含む。		40点	20点	
【技能・表現・コミュニケーション】 ※「専門能力<知識の活用>」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。				
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。		40点		
(「人間力」について) ※以上の観点に、「こころの力」(自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力)と「職業能力」(職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力)を加えた能力が「人間力」です。				

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等 (提出物)	かならず提出期限内に提出してください(期限を過ぎて提出された場合は減点します)。達成水準の目安は以下の通りです。
発表・その他 (無形成果)	授業の中で、適宜質問をします。優れた解答をした者は、記録して加点することがあります。